



「いい仕事を、しつづける。」をモットーに
更なる進化を求める。



金属製品製造業 株式会社日本ベネックス

1957年の創業以来、精密板金加工技術を基盤として、電気・電子機器、産業機器などを幅広く製造。設計から製造まで一貫生産することで、安定した品質の提供が可能であり、九州最大級の加工能力を有する。環境エネルギー事業においては、主に太陽光発電所の設計・施工と自社発電所の運営を行う。屋根借りメガソーラーは国内1～4位を独占、FIP太陽光発電所国内1位の発電容量を誇る。



事業のテーマ

密閉式塗装ブースの導入による品質向上 及び生産性向上の実現

事業のきっかけ

昨今、半導体関連製品をはじめ、一部板金製品における塗装外観の品質要求が高まっており、表面へのわずかなゴミの付着も不適合となる製品が増えている。しかし当社では工場一棟の中に機械加工・溶接作業場・塗装作業場が併設されており、溶接作業で発生する粉塵、ゴミや浮遊物が塗装ブースの局所排気装置に引き込まれるため、塗装作業に大きな影響を及ぼしていた。顧客の要望に応えるため、塗り直しの作業が頻発する現状があった。

事業内容・成果

これまで溶接場と塗装場間へ仕切りを設置するなど、様々な取り組みを行ってきたが、粉塵・ゴミの侵入を防ぐことはできなかった。しかし今回導入した塗装ブースは密閉式のため、ゴミの付着問題が一気に解決。塗り直しがなくなること、美装品（わずかなゴミが付着し、不適合となる製品）の塗装工数が短縮できた。

また塗装工程のボトルネックが解消され、工場全体の生産効率が向上。当社の強みである一貫生産がさらに強化され、顧客ニーズの品質、価格、納期への対応力向上が確認された。

今後の展望

今後も、密閉式塗装ブースのような施設を積極的に導入し、全体の更なる品質向上や工数短縮を目指したい。顧客の高度な要求に応えられる体制や設備を整えることで、未参入の分野にもチャレンジしていきたい。

●ものづくり補助金活用

1ヶ月間に、美装品の
塗り直しに使っていた時間

96時間



0時間

作業時間が短縮し、品質も格段に向上した。



株式会社日本ベネックス
長崎県諫早市津久葉町99番地48
TEL/0957-26-5111 FAX/0957-26-7207
HP/https://www.japan-benex.co.jp/
MAIL/info@japan-benex.co.jp
代表取締役社長/小林洋平
設立/1966年4月15日
資本金/95,000,000円
業種/金属製品製造業 従業員数/130名